

びわこ東海道景観基本計画（案）に関する
パブリックコメントの実施結果について

実施結果

※草津市

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 1 実施期間 | 令和2年12月28日（月）から令和3年1月27日（水）まで |
| 2 意見者数 | 0人 |
| 3 意見総数 | 0件 |
| 4 意見の反映件数 | 0件 |

※大津市

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 1 実施期間 | 令和2年12月28日（月）から令和3年1月27日（水）まで |
| 2 意見者数 | 5人 |
| 3 意見総数 | 10件 |
| 4 意見の反映件数 | 1件 |

周知方法

広報媒体	実績
計画案の配架	配架場所（閲覧者数） ・都市計画課（0人） ・情報公開室（0人） ・草津市立図書館（0人） ・南草津図書館（0人） その他の配架場所 ・守衛室（0人）
資料送付	送付数：0件
個別説明	説明数：0件
市ホームページ	アクセス数：121件（2月15日確認）
広報紙	1月15日号
資料提供	1月15日付け
その他	草津市民向け計画説明会（市民交流プラザ12名参加） ※大津市民向け公聴会（大津市民会館9名参加）

計画案の概要版掲示施設

- | | |
|---------------------------|------------|
| 【必須施設】・各地域まちづくりセンター（14箇所） | ・各隣保館（4箇所） |
| ・草津市立図書館 | ・南草津図書館 |
| ・アーバンデザインセンターびわこ・くさつ | ・人権センター |

【その他の施設】

なし

結果公表の日時

- (1) 公表日時 【ホームページ】 3月15日 ※大津市も同じ時期
 【広報紙】 3月15日号 ※大津市は載せない
- (2) 公表方法
 上記媒体にて公表

大津市でのパブリックコメントおよび公聴会での意見と大津市の考え方

※大津市パブリックコメントにおける意見

No.	意見〔ページ数〕	大津市の考え方
	計画案の修正に関するもの	
1	<p>[25ページ]</p> <p>屋外広告物による景観形成ゾーンイメージ図の「屋外広告物による連携重点ゾーン」と「東海道の景観形成の広がり」について</p> <p>本計画は基本計画であるので大きな方針は理解できる。ただし瀬田の唐橋のすぐ北側の国道1号線の瀬田川橋梁付近と旧東海道も本計画の対象ではないか。栗津の晴嵐から月の輪のあたりまでは国道1号と旧東海道が何ヶ所かで交錯している。</p> <p>提案</p> <p>このイメージ図をもう少し具体的な道路を記載した地図にしてはどうか。</p> <p>ゆくゆくは161号線が浜大津から北上する地域についても屋外広告物の規制をすべきだという本計画の趣旨から瀬田川橋梁の付近と国道1号線も対象とするようなイメージ図にしてはどうか。</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>御指摘いただいた場所についても、本計画でいう連携重点ゾーンに含んでおります。</p> <p>本計画では、両市をつなぐ「幹線道路」を重点的に屋外広告物による景観形成を図っていくことを目的としていますが、まずは、両市が広く接する近江大橋周辺エリアを連携重点ゾーンとして、優先的に各種施策を実施していき、最終的に、そのような取り組みを、近江八景を中心に両市域の幹線道路へ拡大していくことを目的としております。イラスト中で対象路線を明示していないのは、本計画は将来に渡って、両市の景観保全・形成の基本計画になるところ、両市民にとって幹線道路・馴染みのある生活道路が変わっても、この計画の効果を及ぼすことを狙って連携重点ゾーンを中心とした抽象的なイラストにしております。</p> <p>なお、このことを分かりやすくする</p>

		ため、大津市側及び草津市側の幹線道路の景観形成の広がりや、分かり易く表示するよう、図上の矢印を琵琶湖大橋付近まで伸ばすよう、本イメージ図を修正します。
	その他の意見	
2	<p>[全体]</p> <p>1. 「びわこ東海道景観」 目的・意味が理解できませんでした。 「びわこ大津草津景観宣言」からは『びわ湖を中心とした良好な景観』の維持と観光創造する事と理解しましたので、この宣言で十分と考えます</p> <p>2. 滋賀県では「琵琶湖総合保全整備計画(マザーレイク 21 計画)」が実行中で、これを実行するのが「大津市歴史的風致維持向上計画」「大津市景観計画」と考えますので、新規に「びわこ東海道景観」の策定は不要と考えます</p> <p>3. びわ湖の重要性については世界的にも認識されています</p> <p>?びわ湖は日本で最初の国定公園に指定</p> <p>?びわ湖は「ラムサール条約(国際的に重要な湿地)」に登録</p> <p>?「琵琶湖とその水辺景観一祈りと暮らしの水遺産」が日本遺産として認定</p> <p>?「琵琶湖システム」が日本農業遺産として認定</p> <p>?「ピワイチ」はナショナルサイクルルートに指定</p> <p>?「世界湖沼会議」は、大津市で第1回が開催</p> <p>4. それでも今回のびわ湖景観計画が必要と考えるなら</p> <p>?景観についての対象は2市だけでなく他市町も含める</p>	<p>1. 御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>本計画は、両市が広域的な観点から良好な景観資産を保全し、創造するために、目指すべき景観形成の目標とその実現に向けた基本的な方針を定めることにより、景観の形成を進めるとともに、いっそう愛着と魅力あるものとして未来に継承することを目的とします。御意見のとおり、「びわこ大津草津景観宣言」からは『びわ湖を中心とした良好な景観』の維持を目的としておりますが、さらに発展的に、大津市・草津市が共有する良好な景観資産を保全・創造、将来の世代への承継を主目的としており、その反射的効果として、観光創造も狙った計画になります。</p> <p>2. 御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>3. 御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>4. 御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>本計画のように2市が市域を跨いで協議会(景観法15条1項)を設立して、景観基本計画を策定するのは、国内でも例が少なく、まさに先進的な取り組みであると考えております。本計画のような取り組みを県内他市町にまで今後、拡大していきたいと考えておりますので、そ</p>

<p>?びわ湖の景観に係る行政機関を含める 滋賀県（国定公園）と水資源機構（水辺）と土木事務所（湖岸道路）</p> <p>?びわ湖景観の対象区域に水面を追加する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近江大橋南東部の水面の、作業台船部分も含める ・水草やゴミ、雑草、対策を追加する <p>?対岸眺望景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン区分と都市計画（規制）と一貫性を確認する ・山間部の景観を規制や誘導出来る確認する（風力発電、太陽光発電、鉄塔、工場排煙、等） <p>?東海道と旧東海道は異なるので、旧東海道と正しく表記する</p> <p>?ガイドブックを持参しなくても、散策を楽しめるようにする（旧東海道の標識、史跡案内板、史跡の説明、駐車場設置）</p> <p>?滋賀県内だけ東海道本線の事を琵琶湖線と呼称を変えているので、旧東海道をアピールするのであれば、電車も元通り 東海道本線に戻す取組を検討する</p> <p>?序章（P2）背景として、なぜ初めに中国湖南省の話を持ってくるのか疑問、近江八景を説明するためなら、違う解説にする</p> <p>?予算と期間はどのくらいを想定していますか</p>	<p>の際には、いただきました御意見を参考にさせていただきます。</p> <p>なお、「中国湖南省の話」については、両市民にとって馴染み深い近江八景の由来についての解説として本計画で紹介するものです。予算については、今後、本計画に基づき各種施策を実施検討する際に検討する予定であり、具体的な計画はございません。期間については、令和3年4月1日に本計画を施行した後、両市の景観計画（景観法8条）を本計画の趣旨・計画の具体化した内容に変更してまいります。</p>
<p>3</p> <p>〔4ページ〕 「基本的かつ総合的な計画」とあるが作成主体と計画期間を明記した方がよいのではないか。</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。本計画につきましては、大津市と草津市が共同してびわこ大津草津景観推進協議会（以下「協議会」という。）を設置し、</p>

		<p>協議会が「広域にわたる総合的な計画」（地方自治法252条の2の2第1項、同5項）を作成するものですので、作成主体は大津市と草津市となります。このことを表現するため、表紙やP1等に「大津市」と「草津市」と表記しているものです。</p> <p>また、計画期間につきましては、本計画が両市の景観施策に対する「基本的かつ総合的な計画」という性格から、期間を設けておりません。</p>
4	<p>[2ページ、3ページ、28ページ]</p> <p>2頁、28頁、及び裏表紙に近江八景図が掲載されているが下記の絵図も掲載してはどうか。</p> <p>2頁①背景に『琵琶湖眺望真景図』（※★★）として言及することを検討してはどうか。</p> <p>（言及する場所としては2頁5行目の後に追記することが考えられる。また絵図は数カットを3頁、28頁、及び裏表紙等がよいと思う）</p> <p>「琵琶湖眺望真景. 図」慶応2年（1866年）頃 広瀬柏園 大津市歴史博物館所蔵</p> <p>概要：瀬田唐橋から、琵琶湖南湖を反時計回りに描き、湖西は尾花川までを誇張なしで湖上の船からの視線により線画で描かれている。近江八景のような高所からの見栄えは誇張はない。矢橋の帰帆、丸子船、シジミ採り、藻とり、湖南のはげ山、湖岸からの三上山、及び長命寺山の向こうに伊吹山などが見える。8.5mの長巻きの絵図である。</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>なお、本計画の挿絵として専ら近江八景図を使用している趣旨は、大津市民と草津市民が近江八景に象徴される景観でつながっており、そのような景観を保全しながら、将来の世代に承継していくことを目的に本計画を策定しているためです。</p>
5	[7ページ]	

	<p>大津市・草津市の対岸眺望ポイントを拠点とした、両市のゾーン図 等 「重要眺望点に指定されているなぎさ公園打出の森」又は「なぎさ公園市民プラザ」等を追加してはどうか。大津市が試行開始した水上飛行機の発着乗船り場付近（大型ホテルから近い）も検討に値する。</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>対岸眺望ポイントにつきましては、平成28年10月に下記の候補地の中から、大津、草津両市の対岸にあたる範囲で、「近江八景」を選定上の最重要項目とし、県の広域景観形成の取組みや「くさつ景観百選」などを基本に選定したものです。</p> <p>【大津市の候補地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 北大津湖岸緑地（坂本城跡） ◇ 唐崎神社（八景、県20景） ◇ びわ湖大津館（県66景、撮影P） ◇ なぎさ公園（由美浜市民プラザ地先） ◇ 大津湖岸なぎさ公園 <p>【草津市の候補地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 烏丸半島地先（県20景） ◇ 志那1湖岸緑地 ◇ 北山田1湖岸緑地 ◇ 矢橋帰帆島（八景、県20景、撮影P） <p>本計画（案）策定時点では、両市の対岸景観において、最重要「見る」「見られる」関係を重視した眺望ポイントとして4点を選定しているものです。</p> <p>なお、4つの眺望点以外にも、両市民にとって大切な眺望ポイントがあることは、両市が共有している考えでもありますが、まずは4つの眺望点から重点的に各種景観施策を進めていきたいと考えております。</p>
6	<p>[12ページ、14ページ] ③矢橋帰帆島からの眺望 方針2「対岸眺望ポイントを行かした、魅力ある対岸景観の創造」等</p>	<p>御意見として拝聴します。</p> <p>なお、眺望ポイントの考え方については、上記番号4を参照ください。</p>

	<p>都市型景観について 草津市さんからの景観と大津京側からの景観を適切に本計画に反映して欲しい。</p> <p>特に北緯35度3分～北緯35度2分の湖岸建築物を対岸や大津市なぎさ公園等からの景観については悩ましい。</p>	
7	<p>[3ページ、27ページ]</p> <p>SDGsの『目標11 住み続けられるまちづくりを』について 本計画の位置づけを明示してはどうか。</p> <p>意見(1) 3頁 ①背景 の中で明示する。</p> <p>意見(2) 27頁 事業者の役割 または27頁 基本的な考え方 の中で明示する。</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>SDGsにつきましては、本市では、個別の計画に「SDGs」と明記することはしていない状況です。表紙面にSDGsのどの課題に対応できるかは明記しておりますが、本計画の推進がSDGsの課題解決に貢献できると考えております。</p>
8	<p>[26ページ]</p> <p>屋外広告物は景観を形成する大きな要素です。しかしまちかどにある統一案内看板を見ている人は多くありません。個人商店等が自らの仕事(商売等)をアピールし自慢できるような標識が必要と考えます。最近「映える」という言葉をよく耳にしますが、映えるとは、何処にでもあるもの、平凡なデザインのものではありません。例えば看板を見れば、何の商売をしているか? や看板そのものがまちの顔になっているか?などが「映える」という意味でもあると思います。</p> <p>ヨーロッパでは、街並み[通り]と個性ある看板[デザイン]、これだけで観光の目玉になっている所もよく耳にします。時計屋さんは振り子時計の看板、肉屋さんは牛の看板など、分かりやすいだけではなく、特別に優れたデザインでもないが何かほっとする空間にも</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>御意見のとおり、東海道でつながる両市の景観は、大変類似性があるものの、それぞれの地域ごとにきらっと光るような個性があると考えております。(例えば、旧大津宿周辺エリアと草津本陣エリア周辺。同じ宿場町としての類似性とそれぞれの市町の個性が感じられます。)</p> <p>両市の地域らしさを尊重するような景観施策を、屋外広告物に留まらず「対岸景観」・「東海道沿道」の連携項目でも推進していきます。</p>

	<p>なります。統一とは決まったことを守るのではなく、一定の枠内で個性を競うことも「地域らしさ」をもった統一であると思います。</p> <p>ガイドラインは、大津・草津の個性ある地域の魅力を表現したものにして下さい。</p>	
9	<p>[7ページ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 全体的に、眺望ポイントにもっとストーリー性（歴史的、文学的、他）を持たせて欲しい。単に見た目の眺望だけでなく、訪れる人は、ロマンも眺める。 ・ 「坂本城址公園」追加 ・ ・ ・ 2020-21年、大河ドラマでも取り上げられた明智光秀が織田信長の命で築城した坂本城跡周辺になります。西に比叡山・八王子山・壺笠山・宇佐山が臨め、東の琵琶湖の対岸に三上山、遠くに長命寺山、安土山などが臨めます。信仰と戦国ロマンの光景が見られるポイントです。 ・ 「唐崎神社」 ・ ・ ・ 万葉集、枕草子、新古今集などに謳われ、芭蕉の句があり、明智光秀なども謳っている。「七瀬の祓」の一所、金沢の兼六園にある唐崎の松のもと。 ・ 「びわ湖大津館」 ・ ・ ・ ヘレン・ケラー、ジョン・ウェイン、川端康成も観た景色。びわ湖大花火大会の名所。 ・ 「石場」追加 ・ ・ ・ 「矢橋帰帆島」からの渡しの対岸となる「石場」（びわ湖ホール近く）からの眺望の追加。近江八景図では、矢橋から石場に帰る丸子船の叙景が描かれていると聞く。明智左馬之助の湖水渡りの地でもある。 ・ 「烏丸半島」 ・ ・ ・ 矢島御所に近く、 	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>大津市の名勝・旧跡等については、大津市民にとって大変馴染み深く、愛着がある大切な場所であると考えております。本計画は大津市・草津市が広域的な視点から良好な景観保全、形成を図り、並びに景観を活かした魅力あるまちづくりを推進するための方向性を示した、基本的かつ総合的な計画（本計画案P4③）ですので、本市の魅力を余すことなく記載することは難しいですが、御意見いただいたスポットに関する事柄等は、大津市景観計画改定の際は参考にさせていただきます。</p> <p>烏丸半島から坂本までの湖上ルートや烏丸半島からの眺望については、今後、草津市と対岸景観形成等の景観施策を行う中で検討していきたいと考えております。</p>

	<p>この辺りから、室町幕府最後の将軍・足利義昭は坂本・大津に向けて琵琶湖を渡ったのではないのでしょうか。確か、信長との上洛時にもこの湖上ルートを通ったと思います。そうだとすると、「信長・義昭が観た上洛の眺望」と言えます。坂本とこの辺り（志那）の湖上ルートは、中世、京の都から東国（東海道（東山道）、中山道）への近道とされていたと言われますので、歴史的なロマンが感じることができる眺望です。昔の人々は、比叡山から東に琵琶湖を臨み、薬師如来の「東方浄瑠璃浄土」を崇め観て、対岸の草津・守山側からは、西に琵琶湖越しの比叡山を見て、阿弥陀如来の「西方極楽浄土」を崇め観たと聞きます。また、ここからは、近江八景・比良暮雪も見られるはず。近年、イナズマロックフェスの地としても有名。</p>	
10	<p>〔全体〕 「びわ湖の景観美について」 前略、1月23日の京都新聞掲載の記事「びわこ東海道・景観で連携」を読みました。長年、びわ湖の雄大な景観を享受してきた一市民として大賛成です。 私は、美しく整備された大津市のびわ湖畔に建つマンションで30年以上暮らしています。眼前に広がるびわ湖の四季の変化を体感しながら、尚且つ快適な都市生活が送れる日々は、他の場所では得られないことを実感しています。 我が家からは、左手側に大津市の湖西の町並みが見渡せ、右手側には、草津市や守山市の湖岸の町並みも見渡せ</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。 本計画に係る施策推進のためには、多くの人に景観に対して関心を持っていただくことが重要と考えます。御意見くださったような歴史的事例も紹介しながら、両市民の景観に対する意識も醸成していくことを検討していきます。</p>

ます。このような風景を毎日眺め、他のどこにも無い唯一無二の美しい景観が保全されることを願わずには居られません。

このびわ湖の景観は歴史的にも高く評価され、その事例として「近江八景」の絵画が、この基本計画案の中で紹介されています。

びわ湖の景観を愛でる事例には、他にも数多くの古典文学や古典芸能の中で取り上げられていることも、ぜひこの機会に紹介して頂きたいと思えます。

長年の古典芸能のファンとして、歌舞伎や能、狂言に親しんできましたが、これらの芸能の中には実に数多く、びわ湖の景観を愛でる場面が登場します。

例えば、大津と草津を結ぶ「矢橋の渡し」を取り上げた能『兼平(かねひら)』や『自然居士(じねんこじ)』、狂言の『船渡躰(ふなわたしむこ)』など、常に上演される人気演目があります。落語では『近江八景』や『矢橋舟』等の古典落語があげられます。

また古典文学でも、びわ湖の景観美をめぐる記述が、古くは奈良時代の『万葉集』にも取り上げられ、平安時代になると『蜻蛉日記』や『更級日記』などにも詳しく記されています。

江戸時代には、松尾芭蕉が大津に滞在し、びわ湖の景観を讃える多くの俳句を残し、自らの遺志で大津の義仲寺に葬られることを望みました。

このように、現在、私たちが享受しているびわ湖の景観美は、千数百年もの昔から、延々と多くの人々に評価さ

	<p>れ、称賛されてきた歴史があることを、この機会にぜひ再認識していただきたいと思います。</p> <p>びわ湖の景観美を取り上げた多くの歴史的事例を紹介することで、地域の住民のびわ湖の景観に対する評価や認識も高まるのではないかと思います。</p>	
--	--	--

※大津市公聴会での意見

No.	意見〔ページ数〕	大津市の考え方
	計画案の修正に関するもの	
1	<p>〔2ページ〕</p> <p>今、東海道のお話がよく出てきていて、草津と大津が東海道で繋がっているということですが。私は、陸の東海道ともう一つ、いわゆる湖の東海道、「湖（うみ）の道」といいますかね。東海道の「湖（うみ）の道」というのは、昔の人にとって非常に大切な存在として、これを利用して、利用価値もあったと思っております。</p> <p>この「湖（うみ）の道」というのは、まさに大津と草津の生活文化をつなげる一つの大きな材料であると思っておりますし。ひょっとしたら、陸の東海道よりも、この湖の東海道を利用した人たちの方が多かったのではないかなというふうにも思っております。</p> <p>そういうことで、計画の中に、陸の東海道に対して、湖と書いて「湖（うみ）の東海道」が非常に大きな存在であったということを、ぜひ表現をして欲しい。近江八景を見ていても、ほとんど“湖”ということ意識して近江八景ができておりますので。</p> <p>やはり昔の人はいかに琵琶湖を自分たちの暮らしの真ん中に置いていたか、大津と草津が離れているのではなく、大津と草津がまさに一体のものであるというふうに、この琵琶湖はあると思っております。</p> <p>延暦寺の古文書には“琵琶湖は天台薬師の池ぞかし”という表現があります。要するに、琵琶湖は延暦寺から見</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>「湖（うみ）の道」というアイデアについては、両市のつながりが過去から密接であったということが分かる一つの材料になりますので、本計画の背景（P2）に反映します。</p>

	<p>たら、大きな池であったというふうに表現しているぐらいですので。</p> <p>1 まさに大津と草津と言わずに、琵琶湖を一つにした大きなエリアとして捉えると、非常に面白い計画になるのではないかと思っております。</p> <p>それと、拠点について、草津は本陣の近く、大津は大津百町の近くというふうになりましたけれども、例えば、もう一つ。湖の「湖（うみ）の道」を中心に考えるならば、例えば、「坂本と烏丸半島」、あるいは「坂本と矢橋」とかですね、湖（うみ）の拠点っていうのですか、「湖（うみ）の道の拠点」というものもあってもいいのかなというふうに思って、お話を聞いていました。</p> <p>湖をうまく利用した計画を作れたら、両市ともに大きなメリットがあると考えておりますので、そういう考え方を是非入れていただきたいと思っております。</p>	
2	<p>〔2ページ〕</p> <p>やはり湖西の住民にとって、私は堅田の方なんですけれども、琵琶湖大橋ができるまでは、草津市までの行き来というのは大変でした。</p> <p>それは、琵琶湖大橋がないから、船で行き来するという感じでして。かつての湖上交通の役割や意義というものも計画に入れていただければいいかなと。そして、それらの要素を湖上の観光というものにも入れていただいて。草津と大津で連携してやっていったらいいのかなというふうに思いました。</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>「湖（うみ）の道」というアイデアと同様、湖上交通というのは、両市のつながりが過去から密接であったということが分かる一つの材料になりますので、本計画の背景（P2）に反映します。</p>

	その他の意見	
3	<p>[7ページ、13ページ]</p> <p>琵琶湖をまたぐ広域の景観形成。非常に良いことだと思いますが、計画案のP7に眺望点は何ヶ所か設定してあります。</p> <p>大津側は唐崎とびわ湖大津館。草津側は、矢橋帰帆島と烏丸半島が設定されていますけれども、もう1ヶ所ぐらい大津側で増やしていただいたほうがいいかなと思う場所がございます。</p> <p>今、大津市が進めておられる、なぎさ公園魅力向上事業の関連ですけれども、例えば、現在の琵琶湖文化館から市民プラザの辺りまでの区間。今後、大津市として力を入れられる。</p> <p>私もよく通るのですけれども、その辺りから草津側を見る風景というのは非常に開けて気持ち良い景観だと思います。</p> <p>草津市さんとうまく調整いただいて、現状以上に湖岸に建物が立たないように。あるいは、ある程度の規制をかけていただくようにしたらどうかというのが1点です。</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>対岸眺望ポイントにつきましては、平成28年10月に下記の候補地の中から、大津、草津両市の対岸にあたる範囲で、「近江八景」を選定上の最重要項目とし、県の広域景観形成の取り組みや「くさつ景観百選」などを基本に選定したものです。</p> <p>【大津市の候補地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 北大津湖岸緑地（坂本城跡） ◇ 唐崎神社（八景、県20景） ◇ びわ湖大津館（県66景、撮影P） ◇ 大津湖岸なぎさ公園 ◇ なぎさ公園（由美浜市民プラザ地先） <p>【草津市の候補地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 烏丸半島地先（県20景） ◇ 志那1湖岸緑地 ◇ 北山田1湖岸緑地 ◇ 矢橋帰帆島（八景、県20景、撮影P） <p>本計画（案）策定時点では、両市の対岸景観において、最重要「見る」「見られる」関係を重視した眺望ポイントとして4点を選定しているものです。</p> <p>なお、4つの眺望点以外にも、両市民にとって大切な眺望ポイントがあることは、両市が共有している考えでもありますが、まずは4つの眺望点から重点的に各種景観施策を進めていきたいと考えております。</p>
4	<p>[7ページ、13ページ]</p> <p>P13の「対岸の眺望ポイント」というところ。湖西の方の坂本とか堅田</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。眺望ポイントは上記のような考え方</p>

	<p>の浮御堂とかが眺望ポイントとして書かれないと思うのですが。烏丸半島からもそういった場所が綺麗に見えると思うのですけれども。</p> <p>また、堅田の浮御堂の近くには、三上山など琵琶湖の東の方がすっきりと見える居初氏邸がありますし、坂本の方からも草津の方をしっかりと見ることができます。</p> <p>湖西の方には眺望ポイントがちょっと少ないので。これは東海道を中心とした計画ということなのかもしれませんが、湖西の方にも眺望ポイントを加えていただければと思っております。</p>	<p>で選定しておりますので、当面、原案とおりとさせていただきます。</p>
5	<p>〔7ページ、13ページ〕</p> <p>もっと言うなら琵琶湖大橋と近江大橋の間にある対岸エリアのことも、十分に考える必要があるのではないかなと。</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p>
6	<p>〔8ページ、9ページ〕</p> <p>草津側からは、あまり関係ないかも分からないのですけれど。大津側から見ると、湖岸に見える景観以外に、遠景ですね。例えば三上山であるとか、伊吹山。今日は良く見えていましたけれども。そういった遠景も歴史的に大事な良い風景だと思います。</p> <p>そういったことも、直接は今回の計画に関係ないかも分からないのですけれども、遠望まで含むような、最後のページにもある近江八景のそういった昔の風景を、若干意識するような事があってもいいのかなと思います。</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。こちらについては、P8及びP9にあるように、このような景観の意義についても説明させていただいておりますので、原案のおりとさせていただきます。</p>
7	<p>〔8ページ、9ページ〕</p> <p>今の坂本地区のことなのですけれども、少し街道から外れていますが、坂</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。眺望ポイントは前頁のような考え方</p>

	<p>本の滋賀銀の位置は、三上山の方向に真っ直ぐ道が付いているんですね。三上山は野洲市なので、ちょっと話がズレるかもしれないのですけれども。坂本の話が出ましたけれども、東京の都市計画をやられた天海上人さん。あの方が坂本のまちづくりをされた時に、坂本のメインルートを決めた時に、坂本のメインルートを今の滋賀銀の場所から三上山方向に向かって道を付けられて、その方位をベースに坂本のまちづくりをされた。これから坂本辺りも、景観形成が進んでいくと思うのですが、景観の眺望ポイントについては、色々と検討されて、検討された箇所を眺望ポイントとして選定していくなど、眺望ポイントの場所を拡大していったら面白いのではないかなと思います。</p>	<p>で選定しておりますので、原案のとおりとさせていただきます。</p>
8	<p>〔21ページ〕</p> <p>大津と草津が一つになってやる象徴的な事業として、例えば、観光事業を一体的にやるということがあればと思います。</p> <p>今、長浜市として一つの市になっていきますけれども、以前、今の長浜市がいくつかの自治体に分かれていた時にも湖北の観光は連携しています。非常に大きな組織でやっておられまして、大きな成果をあげておられます。</p> <p>こういう事業をきっかけに、観光のPRなんかをする時にも、大津と草津はこういう一体的な観光資源がありますよというようにPRする。</p> <p>あるいは、観光ルートとして、両市をつなぐ街道を歩くルートなり、いろんなルートも作りますというようなですね、事業を一体となってやることを</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>本計画の施行を契機に、各種景観施策に留まらず、様々な分野の政策で草津市と連携していきます。</p>

	<p>考えてはどうか。そうすれば、より連携の成果が、色々な人に見えてくるといふふうに思います。</p> <p>観光パンフレットを見ていると、どうしても大津は大津のエリアだけ、草津は草津のエリアだけのパンフレットになってますので、両方もらってこないで草津・大津を回れないということもありますので。</p> <p>そんなことにも、ぜひこの計画が繋がっていけばいいのかなど。分かりやすい一つの連携の象徴になるのかなど思っております。</p>	
9	<p>[25ページ]</p> <p>もっと言うなら琵琶湖大橋と近江大橋の間にある対岸エリアのことも、十分に考える必要があるのではないかなど。</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p>
10	<p>[27ページ]</p> <p>パートナーシップによる景観形成の推進というところについて。</p> <p>「市民の役割」、「事業者の役割」、「行政の役割」ということで、この計画を三者で進めていくというふうにかかれていますが、市民の方々をどのように巻き込んでいくのか。自分たちのまちづくりを意識してもらおうということが大切だと思います。</p> <p>ここには役割として挙げられていますが、市民を巻き込んでいく何か。意識をしてもらうための、「仕掛け」というか、何かそういうことはどのように考えておられるのか。</p> <p>この計画ができて、それを周知していくことも大切ですが、周知のあり方について、両市でそういう取り組みをしていくことも大事だと思います。</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>今後、景観フォーラム等を通じて、市民の意識を醸成していきます。</p> <p>また、そのように市民の意識を醸成するだけでなく、それぞれの町、単位自治会の中で、独自の取り組みをされている市民や事業者の集まりもありますので、そういった集まりをつなげていって、大きな活動につなげていけるような仕掛けづくりを検討していきます。</p>

	<p>例えば大津で、この沿道に住んでおられる方の意識を刺激するような何かが必要かなというふうに思うのですが。そのあたりの考え方を教えてください。</p>	
11	<p>[全体]</p> <p>東海道は琵琶湖の東側を通っていますが、西側には、北国海道があります。</p> <p>今、能とか狂言とかが、世界的に注目されておりますが、世阿弥が佐渡へ流された時に、どのような形でたどり着いたのか、その街道の記録が残っています。</p> <p>それは、北国海道をずっと渡って行って、小浜へ出て、小浜から「海の道」をつたって佐渡に着いたという旅行記が残っています。昔は、「海の道」と「陸の道」が区別されずに主要街道として取り上げられていたわけです。</p> <p>大津市では、坂本・堅田のような古都にふさわしい街が街道で繋がっていますので、東海道の景観整備を進められる一環として、高島方面への歴史的な古道の再発見に繋げていただけたら、さらに良いのではないかなと思います。</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>北国海道の考え方や高島方面の考え方については、将来、本計画案のような計画を滋賀県内で展開する際に検討していきます。</p>
12	<p>[全体]</p> <p>琵琶湖大橋より北部の地域も大津市域でございまして。北部の住民にとっては、対岸を見ると、守山・野洲とか、そちらの方の景観に意識が繋がっていくわけです。</p> <p>大津市の南部の方は、この計画に対して意識が強いと思います。しかし、俗に言う北湖と南湖と分けてみると、</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>大津市北部の市民にとっては、東海道や近江八景を中心とした景観形成については、なかなか実感がもてないかもしれませんが、両市の過去からの関係性に留まらず、本計画の意義を周知していき、本計画に広く関心をもっていただくよう</p>

	<p>北部の住民は、あまり意識が向かないのかなというふうに思います。</p> <p>東海道を意識すると、今の枠組みで。計画の内容も非常に素晴らしいなというふうに思いますけれど。大津市民のうち、南部の方には計画に対する意識があっても、北部の住民にはないだろうなというふうにも思えます。</p> <p>先ほどの方がおっしゃられた、湖西から見た景観ですね。これをもう少し、意識するためには、おっしゃられたようなことが重要なと思います。</p> <p>琵琶湖大橋より北の地域の考え方について。今後、どのようにこの計画と同じような観点で対岸景観を捉えていくのかということは、今後の課題にはなるかなというふうに思います。</p>	<p>な方策を検討していきます。また、前々頁で指摘がありましたとおり、北部の市民も湖上交通を通じて草津市と交流があり、また、両市市民は近江八景の一つである『比良の暮雪』を通じて、大津市北部地域に思いをはせていたという歴史的事実もございますので、本計画に是非そのような要素を反映できるか検討していきます。</p>
13	<p>[全体]</p> <p>彦根城の世界遺産登録について。まだ、予備登録しかできていないので。当事、彦根城だけでは、なかなか世界遺産登録ができないというような議論がありました。</p> <p>じゃあどうしたら、滋賀県のお城が世界遺産の登録の候補になるか。その時、一つの案として出てきたのが、琵琶湖の周辺にはたくさんのお城、あるいは城跡があるということ。</p> <p>今でもたくさんあります。長浜から始まって、彦根城があり、八幡山八幡城もある。それから、ずっと下がってきて、坂本があり、それから大津城があり、膳所城がありということで、たくさんのお城があります。</p> <p>そういうものをネットワークしたら、滋賀県は世界遺産の登録に匹敵する資源がたくさんあるというような議論</p>	<p>御意見として拝聴させていただきます。</p> <p>このような考え方を念頭に、まずは本計画の実行を確実に行っていきます。両市でこの計画遂行による意義や経験等が蓄積できましたら、この計画のようなスキームを県内に展開することを検討し、琵琶湖を中心に結びついてきた各市町と景観施策に留まらず様々な分野で協力してまいります。</p>

<p>が、ずいぶんされてきました。</p> <p>それと同じように、南の方だけではなくて、北部の地域にも、坂本があり、その向こうには葛川の明王院もある。それから対岸には芦浦の観音寺があり、守山には東門院がある。寺院を中心とした「祈りの道」というのですかね。「祈りの道」あるいは「戦国の道」みたいな。ちょっと他には無いような。</p> <p>やっぱり、いろんな「道」が沢山あると思います。そういう色んな道がふんだんにあるということもアピールできる材料として。どこかに表現していただけたら良い計画になるかなというふうに思っています。</p>	
--	--

▼原案への反映について

パブリックコメントおよび公聴会の実施結果を踏まえ、必要なものについて原案の修正を行います。